

# 岩手県災害廃棄物対応方針の概要

## 1 方針策定の必要性

### 【背景】

近年多発する、地震、台風、大雨、火山噴火などの災害によって生じる廃棄物の処理は、被害を受けた地域における復旧・復興の妨げにならないよう、円滑かつ迅速に行われる必要がある。

### 【目的】

東日本大震災津波で得られたさまざまな経験や知見に、近年全国各地で発生した災害の対応から得た知見や知識を加え、今後、発生する災害に備えるため、平時から大規模災害時においても実効性のある、災害廃棄物処理のための方針・マニュアル等を策定する必要がある。

## 2 方針の位置付け

環境省が策定した災害廃棄物対策指針を踏まえ、県の災害廃棄物処理計画(当方針)を策定するよう環境省より求められていることから、県地域防災計画において想定している災害のうち、①内陸直下型地震及び②海溝型地震をモデルケースとして廃棄物の発生量等を想定するほか、災害廃棄物処理に関する県の基本的な考え方を示すもの。また、災害廃棄物の処理方法や処理手順を示すと共に、市町村災害廃棄物処理計画に資するものとして策定するもの。

## 3 各主体の役割

### 市町村

- ・ 生活環境の保全と公衆衛生上の支障の観点から、災害廃棄物を含む域内の一般廃棄物の処理責任。
- ・ 非常時災害時に対応可能な廃棄物処理体制の構築

### 県

- ・ 市町村が行う災害廃棄物対策に関する技術的な支援
- ・ 市町村からの事務の委託による、処理事業の実施
- ・ 国や関係機関、関係団体との調整、協定の締結

### 国

- ・ 災害に係る事前の備えにおける司令塔機能
- ・ 全国、地域ブロックにおける連携体制の整備
- ・ 大規模災害時に発生する廃棄物処理

## 4 本県方針の特徴

東日本大震災津波で得られた知見や知識

- ・ 東日本大震災津波により発生した災害廃棄物の岩手県における処理の記録(H27.2)
- ・ 岩手県災害廃棄物処理実行計画(H23.6)
- ・ 岩手県災害廃棄物処理詳細計画(H23.8)
- ・ 岩手県災害廃棄物処理詳細計画の第一次改訂(H24.5)
- ・ 岩手県災害廃棄物処理詳細計画の第一次改訂(H25.5)

東日本大震災津波からの反省点

これらを生かした方針を策定

## 5 方針の構成

### I 総則

#### ①方針策定の趣旨

- ・ 背景及び目的
- ・ 方針の内容

#### ②方針の概要

- ・ 位置付け
- ・ 構成
- ・ 関連計画

#### ④基本的事項

- ・ 基本方針
- ・ 対応の流れ
- ・ 処理、協力体制
- ・ 災害の発生状況
- ・ 対象とする廃棄物
- ・ 想定される災害
- ・ 災害予防

#### ③ 東日本大震災津波から残された課題

### II 災害廃棄物対策

#### ① 初動対応

- ・ 心構え
- ・ 組織体制
- ・ 情報収集
- ・ し尿対策

発災から数日間を乗り越えるための基本的考え方

- ・ 被災者第一
- ・ 指揮命令系統
- ・ トイレ対応
- ・ 情報確認手段

#### ② 災害に伴う災害廃棄物の処理

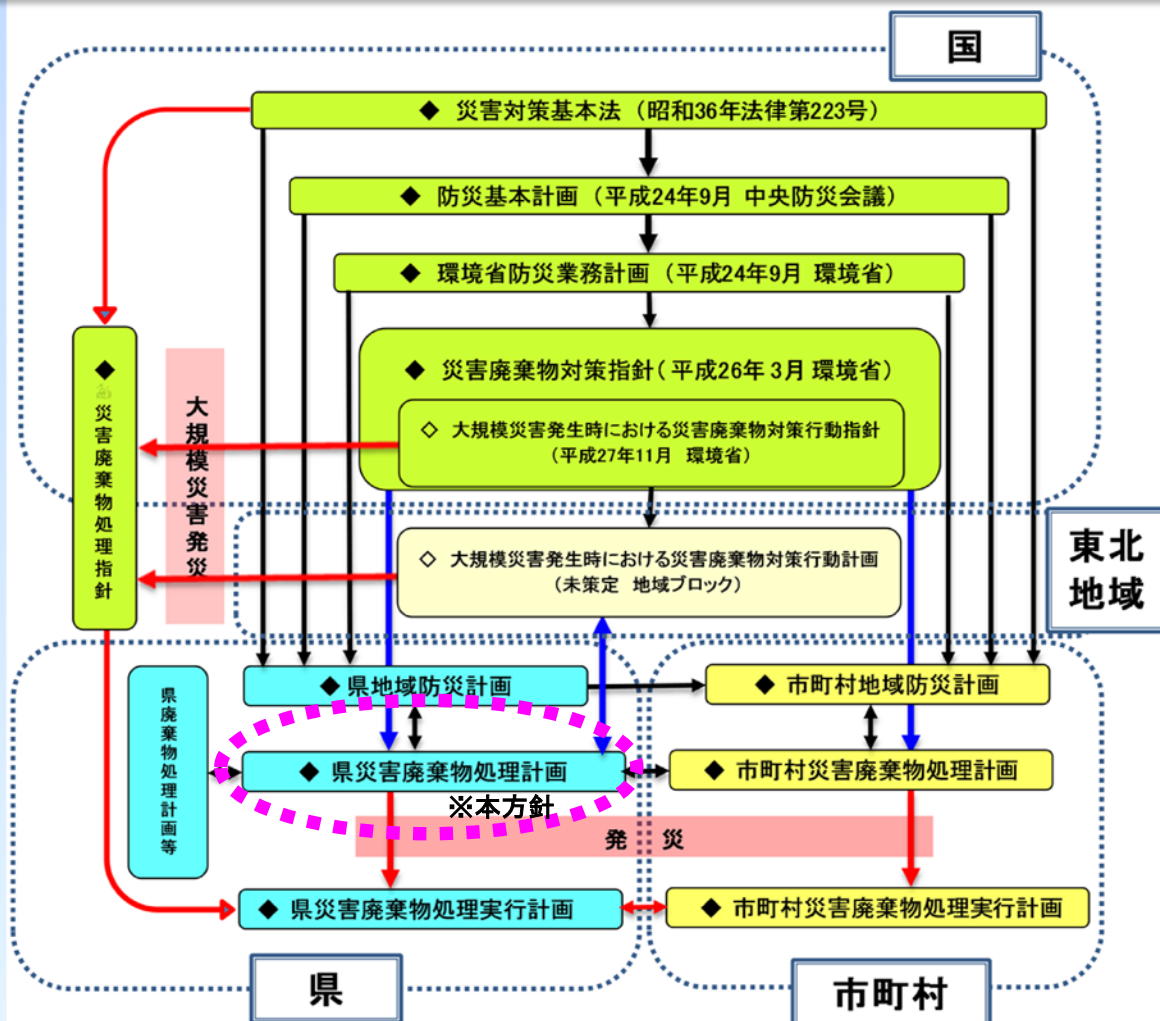
- ・ 災害廃棄物の推計量
- ・ 処理スケジュール
- ・ 処理の流れ
- ・ 生活系ごみ処理(避難所ごみ・し尿)
- ・ 災害廃棄物処理

- ・ 県実行計画の策定
- ・ 収集運搬
- ・ 家屋解体
- ・ 仮置場
- ・ 破碎・選別
- ・ 再生利用(復興資材化)
- ・ 焼却処理
- ・ 広域処理
- ・ 処理困難物
- ・ 最終処分
- ・ 配慮が必要となる廃棄物
- ・ 安全対策
- ・ 環境対策
- ・ 施工監理、進捗管理
- ・ 思い出の品
- ・ 許認可
- ・ 相談窓口、啓発広聴広報
- ・ 補助金制度

### III 方針の見直し

### IV 資料編

- ・ 関係機関連絡先
- ・ 協定書
- ・ 施設一覧ほか



# 災害廃棄物処理の概要

## 発災後の時期区分と特徴

発災後の時期区分と特徴は以下のとおりである。

時期区分	時期区分の特徴	時間の目安
初動期	人命救助が優先される時期（体制整備、被害状況の確認、必要資機材の確保等を行う）	発災後数日間
応急対応（前半）	避難所生活が本格化する時期（主に優先的な処理が必要な災害廃棄物を処理する期間）	～3週間程度
応急対応（後半）	人や物の流れが回復する時期（災害廃棄物の本格的な処理に向けた準備を行う期間）	～3カ月程度
復旧・復興	避難所生活が終了する時期（一般廃棄物処理の通常業務化が進み、災害廃棄物の本格的な処理の期間）	～3年程度

初動期（発災直後の混乱期）における体制の構築及び災害対応が特に重要となる。

## 災害発生後における体制の構築

初動期に必要とされる業務は以下のフロー図で示すとおりと想定される。

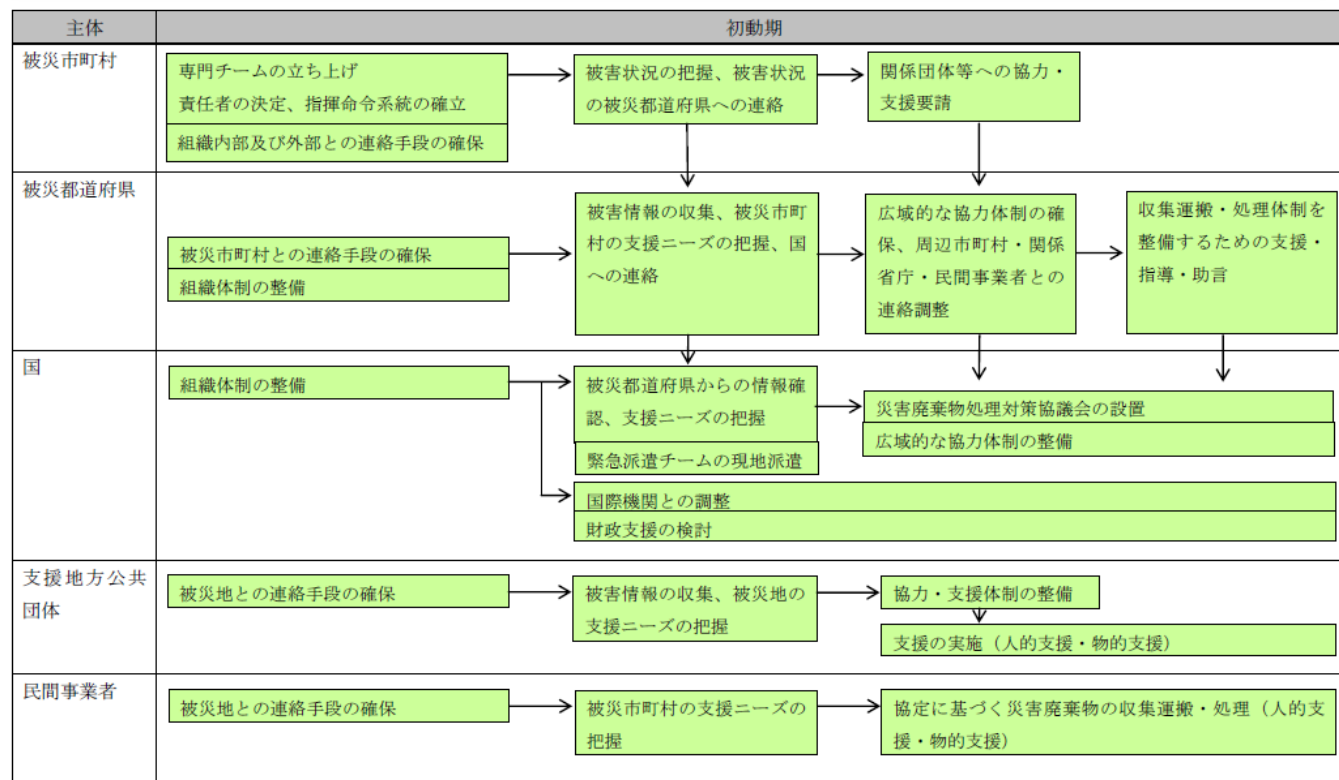


図 1-3-5 体制の構築、支援の実施

## 災害発生後の業務概要

発災後には以下のフロー図で示す業務が発生することが想定される。

